授業科目 社会福祉援助技術各論Ⅰ

社会福祉学科
専門

【担当教員名】 西村 順子	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

社会福祉援助技術のうち、直接援助技術の一つである個別援助技術（ケースワーク）において、理論、価値・倫理および方法・技術について、歴史的展開を踏まえながら体系的に学ぶ

1. 個別援助技術（ケースワーク）の定義、基本原理・原則について理解する。
2. 個別援助技術（ケースワーク）の成立と発達史及び諸理論（アプローチ）について理解する。
3. 個別援助技術（ケースワーク）の基本的な技法および援助展開課程を理解・習得する。
4. 個別援助技術（ケースワーク）価値・倫理、専門性について理解する。
5. 個別援助技術（ケースワーク）を活用する福祉専門職者としての自己覚知について考察する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション		
2	社会福祉における直接援助技術の意義		
3	個別援助技術の意義・定義		
4	個別援助技術の成立と実践理論・アプローチ①		
5	個別援助技術の歴史と実践理論・アプローチ②		
6	個別援助技術の歴史と実践理論・アプローチ③		
7	個別援助技術の展開課程①		
8	個別援助技術の展開課程②		
9	個別援助技術の展開課程③		
10	個別援助技術の面接		
11	個別援助技術における価値・倫理、専門性①		
12	個別援助技術における価値・倫理、専門性②		
13	個別援助技術の専門性と福祉専門職としての自己覚知		
14	まとめ		
15	試験		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	『新版・社会福祉士養成講座9 社会福祉援助技術論Ⅱ』福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版			
参考書	メアリー・E.リッチモンド著/小松源助訳『ソーシャル・ケース・ワークとは何か』中央法規出版, 1991. F.P.バーステック著/尾崎新他訳『ケースワークの原則:援助関係を形成する技法,新訳改訂版』誠信書房, 2006			
その他の資料				

【評価方法】 出席状況及び受講態度（40%） 最終試験（60%）	【履修上の留意点】 講義に関係のない私語は他の履修者の学習権の侵害になることに十分留意すること。
--	---